

平成28年10月発行

こんにちは！だいぶ秋らしい季節になってきましたね。肌寒さを感じる日もあるほどです。どうぞご自愛くださいませ。それでは16号もよろしくお願ひします♪

～法事（年忌法要）で和尚さんが一人で唱えてるのはなんだ？～

前号では年忌法要でお唱えするお経についてご紹介しました。やはり2500年の歴史があるように、味わい深いものがお経にはあります。噛めば噛むほど、というか、知れば知るほど素晴らしさに気づけるとおもいます。

「でもさ～、お経以外に和尚さんが一人で唱えてる部分あるよねー、あれは何？」と思いませんか？



ということで、今回はその謎を解明したいと思います！！！！

東光寺の年忌法要でいいますと、般若心経や観音経などのあとにお唱えしているアレです。

そのアレは『回向文』（えこうもん）といいます。般若心経のあとが『本尊回向』、観音経のあとが『先祖回向』です。

回向とは“回し向ける”という意味です。が、私は初めて聞いたとき、“回し向けるって？？？”と頭の中が？マークでいっぱいになりました…。



この“回し向ける”というのは、自分の積んだ功德を他の方々に渡す、ということです。



つまり、ご本尊様への感謝と誓いを示し、さらに、「ご先祖様があったからこそ今の自分があります。今、私は尊い教えが書かれたお経をよみました。精一杯のお供えもしました。それによって得られる功德でご先祖様が清らかでありますようにご冥福をお祈りします。さらに、生きとし生けるすべてのもののために、毎日の生活で恩返しができるように努力します！！！」

という意味が“回向”には込められています。

年忌法要以外のあらゆる法要で“回向”はお唱えしています。回向中は静かに気持ちを込めて手を合わせていただければと思います。また、大般若やお施餓鬼などでは『普回向（ふえこう）』という皆さんもお唱えしている回向があります！実は私も『回向』唱えてたんですね～（*^*）

*この『まめこ通信』はお寺のことをもっと知ってほしいという想いで始めました。

ご家族皆さまで読んでいただけると嬉しいです◎

編集 東光寺副住職寺庭 横山 由馨

